

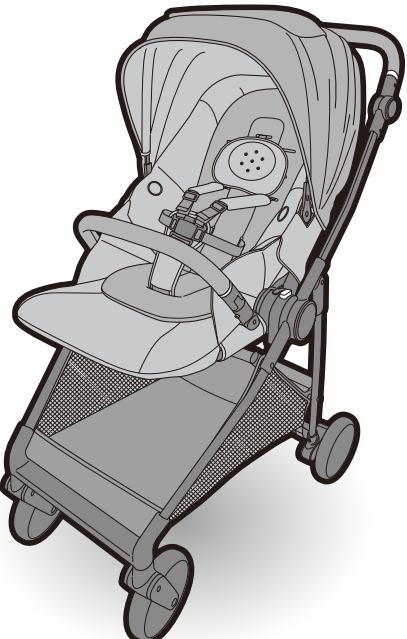
ベビーカー

ルーチェ／ルーチェ プレミアム

取扱説明書／保証書

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、
ありがとうございます。
この製品は生後1ヶ月※～36ヶ月(体重約15kg)までの
乳幼児1人用ベビーカーです。

※ここでいう生後1ヶ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、1ヶ月を経過した乳児を指します。
この条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。



・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合もありますので、あしからずご了承ください。



ご使用の前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ
正しくお使いください。
お読みになった後は、本書はいつも取り出せる場所に
必ず保管してください。
本書に記載されている以外の方法で使用しないで
ください。製品の機能が充分発揮できないだけでなく
大変危険です。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

もくじ

はじめに

ご使用前に	1
保護者の方へのアドバイス／SG基準について／本書の表示について	
ご使用上の注意	2
警告／注意	
製品を取り出した時に	5
製品の特徴	
各部の名称	6

ベビーカーの使用方法

ベビーカーの開き方	7
ストッパーの使い方	8
シートの向きの切替え方(背面・対面の使い方)	9
シートベルトの使い方	11
足のせサポートの使い方	12
フロントガードの使い方	13
ハンドルの角度調節の使い方	13
パッドの取り付け方	14
お子さまの乗せ方	15
肩ベルトの高さ調節	17
リクライニングの角度調節	18
日除けの使い方	19
リバーシブルインナーシートの使い方	20
カゴの使い方	20
ベビーカーの折りたたみ方	21
ベビーカーフレームの折りたたみ方	24

その他

日常のお手入れ	25
困った時	27
保管について／廃棄について	28
SGマーク制度について	28
保証とアフターサービスについて	29
保証書	30

ご使用前に

保護者の方へのアドバイス

安全、快適にお使いいただくために

- ・ベビーカーの連続使用、長時間使用は避けましょう。
- ・お子さまに直射日光が当たらないように配慮しましょう。
- ・騒音や粉じんの多い人混みはなるべく避けましょう。
- ・振動や衝撃のかかりやすい段差や道路はできるだけ避けましょう。

SG基準について

・SGマークが表示されたベビーカーは、製品安全協会の規定で定められた、つぎのような基準を満たしています。(この製品は、SG安全基準A形合格品です。)

適用範囲	このベビーカーは、一般家庭を対象として、乳幼児を乗せ、外気浴、買物などに使用する1人乗り用のベビーカーです。
形式の分類	A形 生後1ヶ月を過ぎまだ首がすわらない乳児から寝かせた姿勢で使用できるベビーカー。
使用範囲	生後1ヶ月から36ヶ月まで
望ましい連続使用時間	寝かせた姿勢:2時間以内 座らせた姿勢:1時間以内
背もたれ角度	150°以上
車輪の外径	115mm以上

- ・ベビーカーにチャイルドシート(別売)を取り付けてご使用された場合には、SGマーク制度の対象にはなりません。

本書の表示について

・「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
禁止図記号	表示の意味
🚫	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。
💡 アドバイス	製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

ご使用上の注意

・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用の前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お子さまが落ちるおそれがあります。



シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を外して使用しない。



坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒するおそれがあります。



ベビーカーの中でお子さまを立たせない。



お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーをロックし、ベビーカーが動かないことを確認する。



お子さまを乗せたままシートの着脱をしない。



お子さまや荷物をのせた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようにできるものではありません。



お子さまを乗せたままシートを外して持ち運ばない。



お子さまを乗せたままベビーカーを離れない。



お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。



シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。

バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒するおそれがあります。

お子さまを乗せたままベビーカーを持ち上げない。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが転倒するおそれがあります。



二人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。



階段やエスカレーターなど大きな段差のあるところで使用しない。

ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まるおそれがあります。

ご使用時は、ハンドルを上下に動かし、フレームが折りたたまれないこと、およびシートの背もたれ中央を押し、シートが折りたたまれないことを確認する。



思わぬ事故の原因となります。

取り外したシートをチャイルドシートとして車で使用したり、室内用のいすやベッドとして使用しない。



ベビーカーが後方転倒するおそれがあります。



カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルにつるしたりしない。また、ハンドルによりかかったりしない。

路面の影響も加わって、ベビーカー内の温度が高くなるおそれがあります。



気温が高い時や日ざしが強い時は、長時間使用しない。

お子さまの首にベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。



肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込み、フリーにさせないこと。またお子さまの体格に合わせて調節すること。

ベビーカーが破損し、ベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。



ハンドルに過度の荷重をかけない。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。



開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。



フロントガードを閉じる時は、お子さまの指や手足を挟まないように注意すること。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

- ・お子さまにベビーカーを操作させない。
- ・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。頭側に寄りすぎるとベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。
- ・弊社サービス員以外はネジやナットなどの部品を取り外したり、分解・組立・改造をしない。
- ・急激に力を加えたり、落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。
- ・お子さまの遊び道具として使用しない。
- ・電車などのご利用時には、無理な乗り降りはしない。ベビーカーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があり大変危険です。

注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・必ず定期的に点検とメンテナンスを行ってください。
- ・ご使用前に、シート縫製品や日除けの固定部(面ファスナーなど)が外れていないか確認してください。
- ・可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤をご使用ください。
- ・長期間ご使用されていなかったベビーカーを再度ご使用になる場合には、必ず点検とメンテナンスを行ってください。
- ・空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
- ・ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
- ・2台のベビーカーを連結して使用しない。
- ・前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。
- ・ベビーカーにお子さまを乗せて走行する時は、お子さまのために普通の歩き方(時速約4キロメートル位の速さ)で押す。
- ・ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。砂などが入り車輪やキャスターがスムーズに回らなくなる原因となります。
- ・フレームに砂や泥の汚れをつけたままで使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。
- ・ベビーカー本体にはお子さまを乗せる目的とした市販のボードなどは取り付けないでください。破損の原因となります。
- ・カゴに重量5kg以上の荷物を入れない。
- ・保護者、介添者などが、ベビーカーに腰掛けない。
- ・荷物などの運搬のために使用しない。
- ・その他、お子さまを乗せる以外の目的で使用しない。
- ・バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わず事故につながります。
- ・電車の中での使用について。本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用する時は、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、充分注意してご使用ください。
- ・雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。
- ・風の強い時は使用しない。
- ・雷の時は使用しない。
- ・室内、火気の近く、高温になる場所ではレインカバーなどを使用しないでください。ベビーカー内部の温度が高くなりすぎるおそれがあります。
- ・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- ・その他、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

・段差を無理に乗り越えようとしてください。破損や故障の原因となります。

〈段差の乗り越え方〉

後輪に足裏をあて、ハンドルを手前に引いて乗り越えてください。

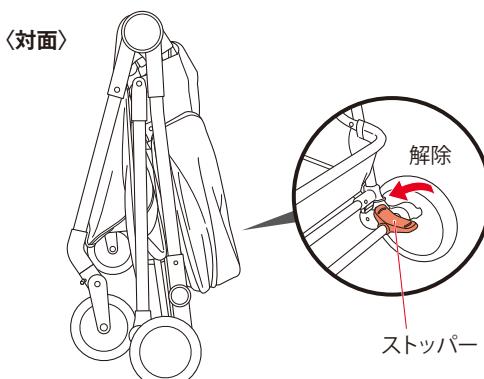


製品を取り出した時に

- ・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P29参照)
- ・ご使用の前に、P30「保証書」に次の項目をご記入ください。
 - ①品番、ロット番号(P6「各部の名称」参照)
 - ②購入日
 - ③お客様のお名前、住所、電話番号
 - ④販売店名
- ・レシート(領収書)を本書と一緒に保管してください。(P29参照)

本体

- ・箱から取り出した時は、シートが対面の状態で折りたたまれ、フロントガードが取り外されています。
- ・ベビーカーの開き方はP7、8を参照してください。



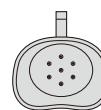
〈製品を取り出した時には〉

ストッパーがロックされた状態になっております。ご使用の前にストッパーのロックを解除してください。(P8参照)

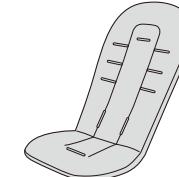


- ・ご使用の前にストッパーのロックを解除してください。(P8参照)

付属品



頭マモールパッド



リバーシブルインナーシート



取扱説明書/保証書
(本書)



- ・製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。お子さまがかぶつたりして窒息するおそれがあります。

〈製品の特徴〉

- ・シートの向きを付け替えることで対面・背面に切替えられます。
- ・前後折りたたみ方式です。
- ・マグネットバックルを使用しています。
- ・車体を折りたたんだ状態で自立します。
- ・別売りの専用アタッチメントでトラベルシステム対応チャイルドシートを取り付けて使用できます。

各部の名称

〈シートベルト〉

・シートベルトは、肩ベルトと腰ベルト、股ベルトの総称です。

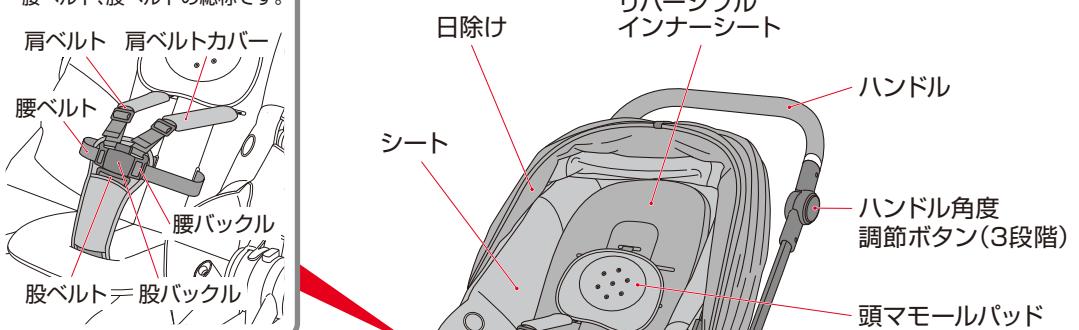
肩ベルト 肩ベルトカバー

腰ベルト

腰バックル

股ベルト=股バックル

シート



日除け

リバーシブル
インナーシート

ハンドル

ハンドル角度
調節ボタン(3段階)

頭マモールパッド

肩ベルト通し穴

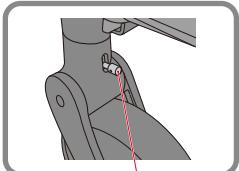
マグネットホルダー

フロントガード

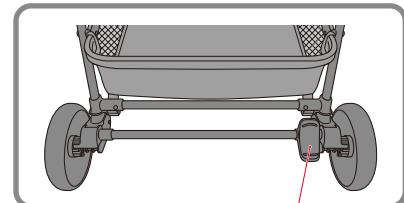
足のせサポート

カゴ

ステップ



前輪
キャスター
ロックピン
<保管時使用>



ストッパー

〈背もたれ背面〉

折りたたみ
ボタン(グレー)

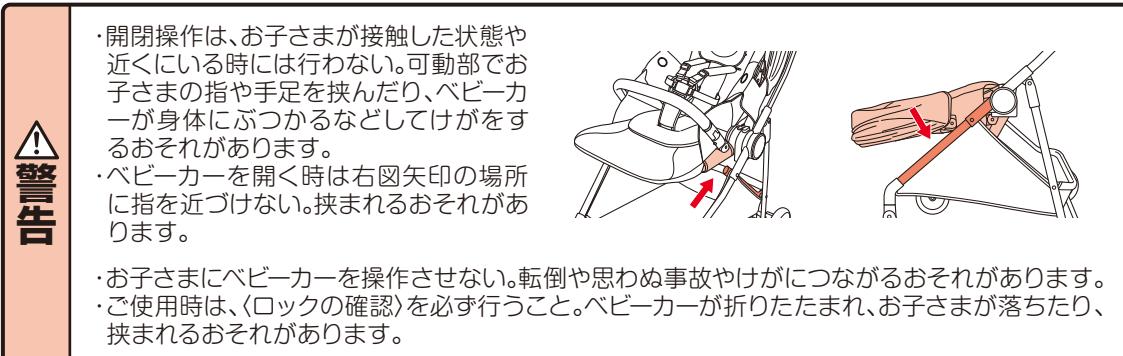
リクライニング
レバー(黒)

折りたたみベルト

品名・品番
ロット番号シール

<保証書記入時にご参照ください。>

ベビーカーの開き方

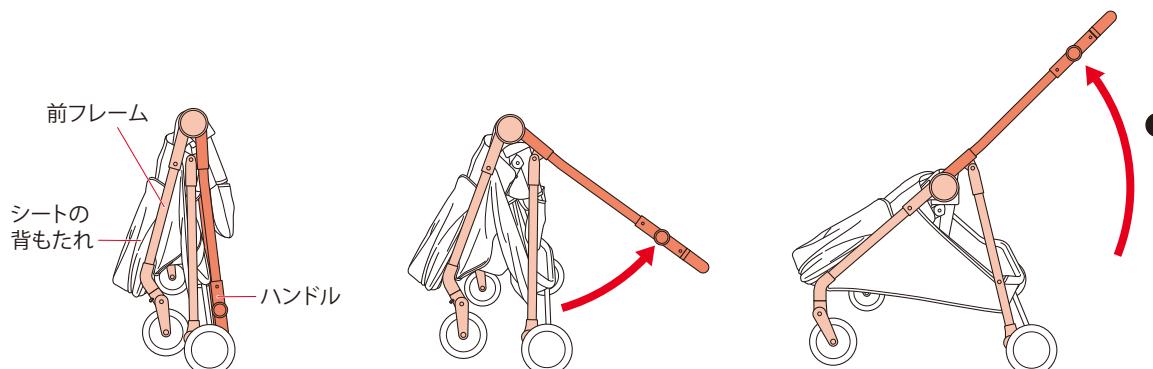


お願い 梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。

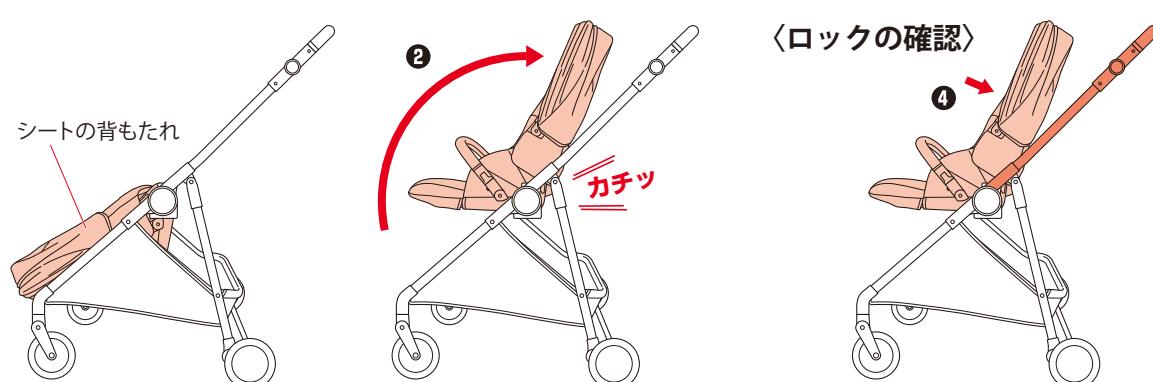
アドバイス 箱から取り出した時には、シートが対面の状態で折りたたまれています。シートの向きを切替える時は、P9を参照してください。対面、背面どちらの状態からでも、ベビーカーを開くことができます。

シートが背面の状態で開く場合

※梱包時はフロントガードが取り外されています。
フロントガードの取り付け方はP13を参照ください。



①片方の手で前フレームを持ちながら、もう片方の手でハンドルを持ち上げ、ベビーカーを開く。

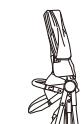


②「カチッ」と音がしてシートが固定されるまで背もたれを引き上げる。

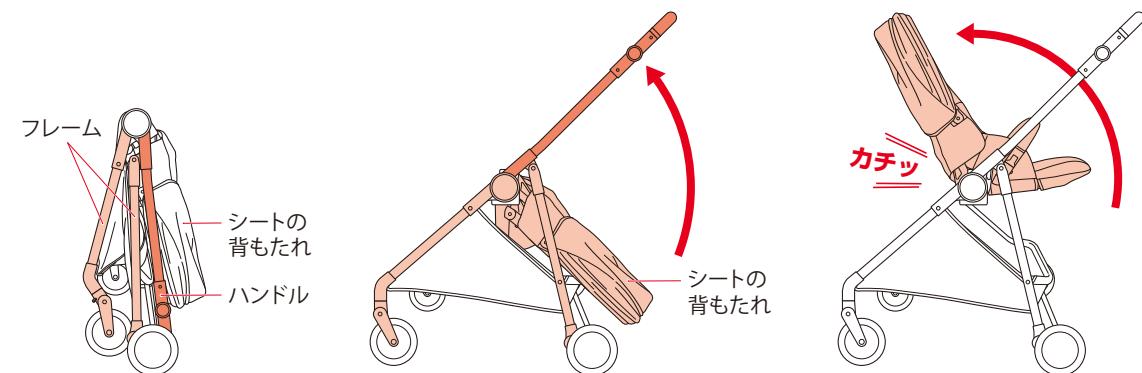
- ③ハンドルを上下に動かし、車体が折りたたまれないことを確認する。
- ④シートの背もたれ中央を前から押し、シートがロックされていることを確認する。



・ベビーカーを開く時、ハンドルを持ち上げる前にシートを持ち上げない。ベビーカーが転倒するおそれがあります。



シートが対面の状態で開く場合



●シートが背面の時と同様にベビーカーを開き、〈ロックの確認〉を行います。

・前輪のキャスターをロックしている場合は、ロックを解除してからご使用ください。(P23参照)

ストッパーの使い方



- お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーをロックすること。
- お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようにできるものではありません。
- ストッパーをロックしていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。

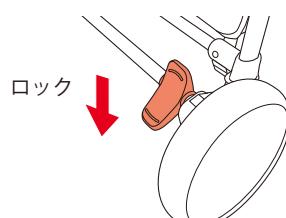


- お子さまを乗せていない時でも、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーをロックしてください。

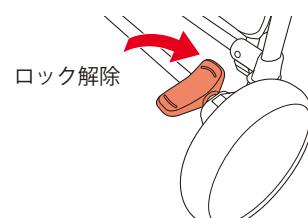


・ストッパーを押し下げることで、左右両方の後輪をロックすることができます。

〈ストッパーをロックする場合〉



〈ストッパーをロック解除する場合〉



- ①ストッパーの手前側を押し下げ、ロックする。(左右)
- ②ベビーカーを前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。

- ストッパーを前方に踏み込み、ロック解除する。

シートの向きの切替え方(背面・対面の使い方)



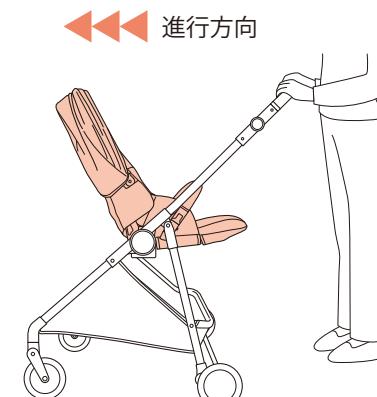
- お子さまを乗せたままシートの着脱をしない。お子さまが落ちるおそれがあります。
- シートの取り付け、取り外しをする時は、手指を挟まないように注意すること。
- お子さまを乗せたままシートを外して持ち運ばない。
- 取り外したシートをチャイルドシートとして車で使用したり、室内用のいすやベッドとして使用しない。
- シートを取り外した後にベビーカーのフレームだけで使用したり、対応機種以外のアタッチメント、チャイルドシート、その他の部品を取り付けて使用しない。

本製品はシートの向きを背面、対面に切替えて使用することができます。

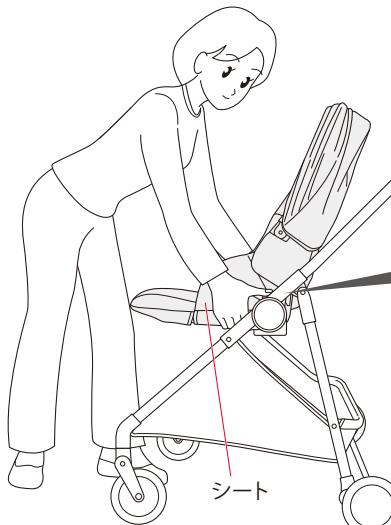
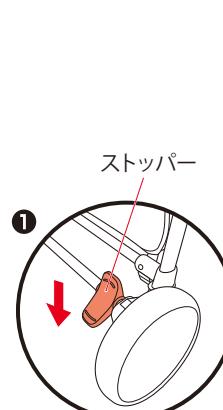
背面(お子さまの後方から押す場合)



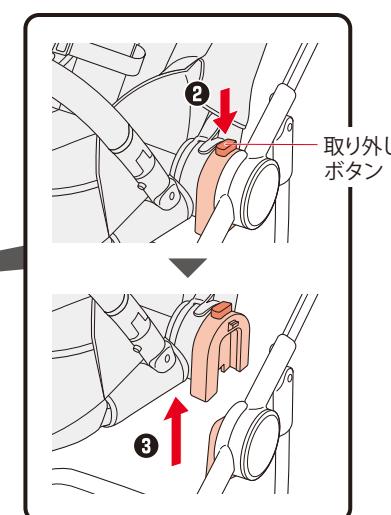
対面(お子さまと向かい合って押す場合)



1 シートを取り外す

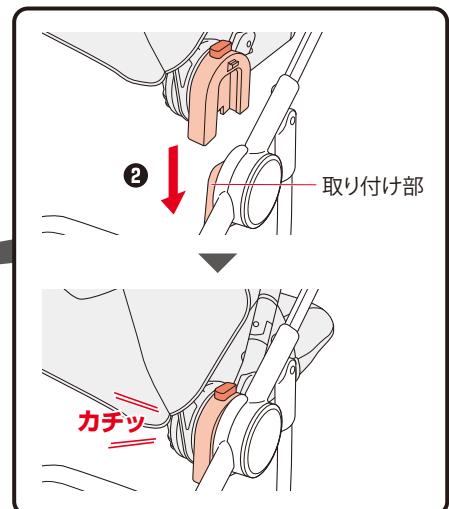
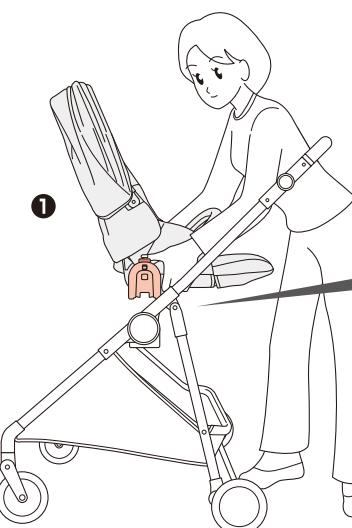


①ストッパーをロックする。



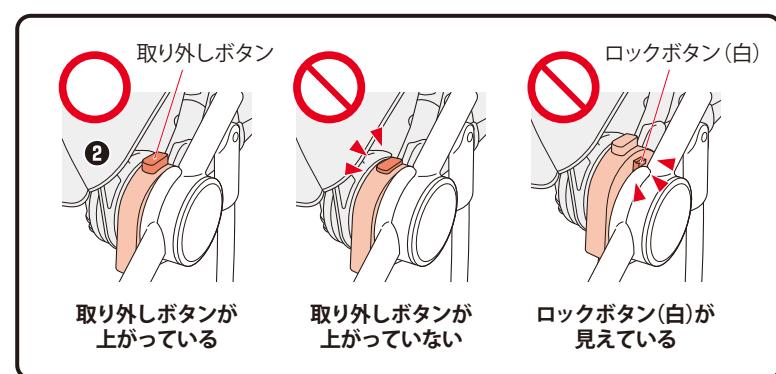
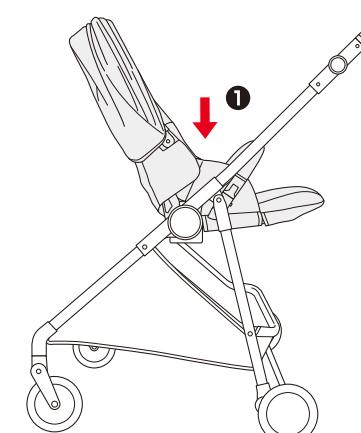
②シートの左右の取り外しボタンを同時に押しながら、
③シートを持ち上げて外す。

2 シートを取り付ける



- ①シートの向きを反対にする。
②「カチッ」と音がするまでシートをフレーム内側の取り付け部に差し込む。(左右)

3 ロックの確認



- ①軽くシート中央を押し、左右とも確実にロックさせる。
②ロックボタン(白)が見えておらず、取り外しボタンが上がっていることを確認する。(左右の取り付け部とも)



- シートの取り付け後、シートとフレーム内側の取り付け部が左右とも完全にロックされていることを確認する。
お子さまが落ちるおそれがあります。

・対面から背面への切替えの場合も同様の手順とロックの確認を行ってください。

シートベルトの使い方

バックルについて

・本製品のシートベルトのバックル(股バックルおよび腰バックル)には、マグネットが使用されております。

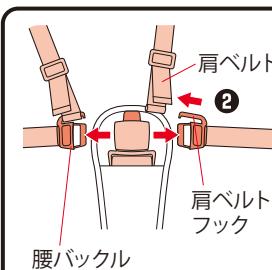
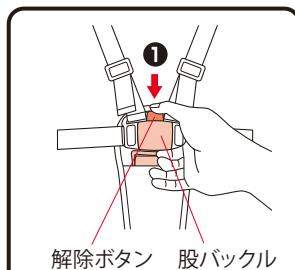


- ・バックルのマグネットがペースメーカーの作動に影響を及ぼすおそれがあります。
- ・ペースメーカーをご使用のお子さまを本製品に乗せないでください。
- ・ペースメーカーをご使用の方がベビーカーを操作される場合は、ペースメーカーの植込み部位をバックルに近づけないでください。



- ・クレジットカードなど、マグネットの影響を受ける可能性のあるものをバックル付近に近づけないでください。
- ・シートベルトを外した状態でベビーカーを折りたたんだり、ベビーカーを放置したりしないでください。バックルが破損したり、バックルのマグネット部分に異物が付着し確実にロックできなくなったりするおそれがあります。

シートベルトの外し方

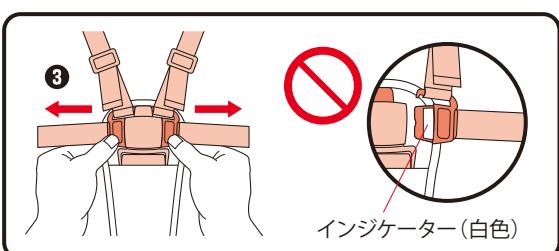
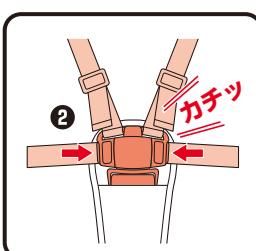
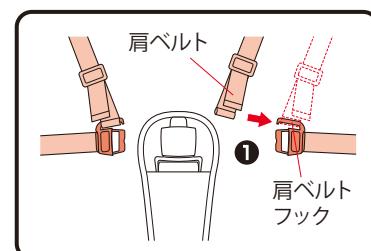


- ①股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。(左右の腰バックルが同時に外れます。)
- ②肩ベルトを肩ベルトフックから抜く。(左右)



股バックルの解除ボタンはお子さまが容易に操作できない強さに設定されています。シートベルトを外す際は、解除ボタンは最後までしっかりと押し込んでください。

シートベルトの締め方(バックルのとめ方)



- ①肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。(左右)
- ②腰バックルを股バックルに差し込む。(左右)
(マグネットで腰バックルが引き込まれ、「カチッ」と音がしてロックします。)

- ③腰バックルのインジケーター(白色)が見えていることを確認した上で、左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。

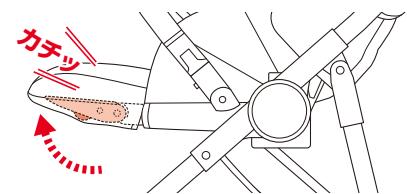


・バックルに異物の付着がないことを確認してからバックルを差し込んでください。
・バックルにベルトや布などが挟みこまれた場合は、一度バックルを外し、差し直してください。

足のせサポートの使い方

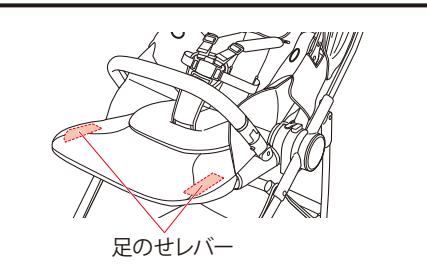
・お子さまを楽な姿勢にすることをサポートします。

〈足のせサポートの上げ方〉



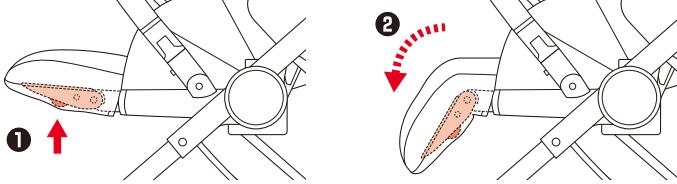
- ・シート先端を持ち、左右とも「カチッ」と音がするまで上げる。

〈内部の足のせレバー位置〉



足のせレバー

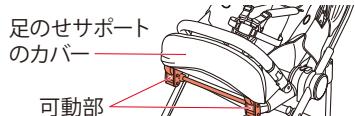
〈足のせサポートの下げ方〉



- ・上向きから水平への下げ方も同様の手順で行ってください。



- ・シート先端の足のせサポートのカバーは取り外さない。足のせレバー可動部が露出して、お子さまや使用者が手指を挟むおそれがあります。



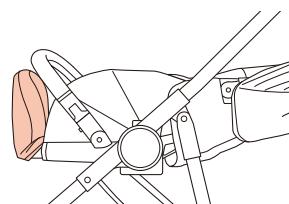
- ①シート内部の足のせレバーをつまみながら、(左右)
- ②足のせサポートを下げる。

下向きの場合、足のせサポートは固定されません。

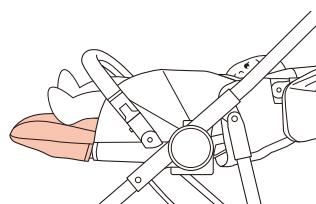
足のせサポートの調節

・足のせサポートの向きは3段階に調節することができます。

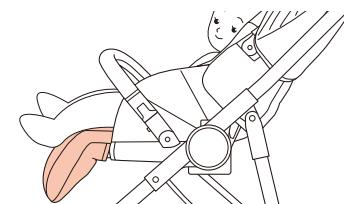
〈上向き〉



〈水平〉



〈下向き〉



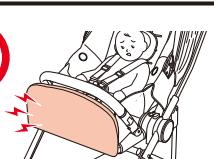
- ・月齢の小さいお子さまの足元を保護します。

- ・足のスペースが広がり、お子さまの足を支えます。

- ・座姿勢の時に、お子さまのふくらはぎを支えます。



- ・お子さまの足が足のせサポートにつかえるなど、窮屈に感じられるようになったら、上向きの使用はやめる。



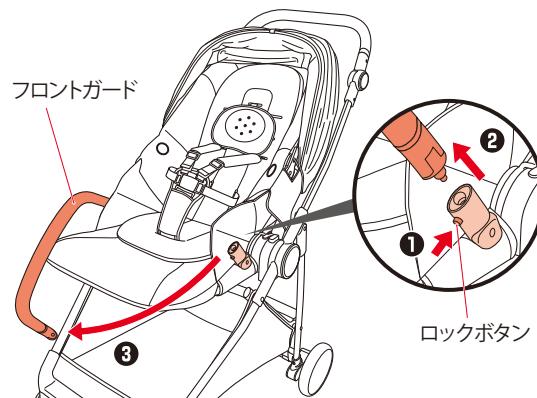
フロントガードの使い方



- 開いた状態のフロントガードを振り回したりしない。お子さまにフロントガードが当たり、けがをするおそれがあります。
- フロントガードを操作する時は、お子さまの指や手足を挟まないようにすること。
- フロントガードを持って、お子さまを乗せたままのベビーカーを持ち上げたり、引っ張ったりしない。
- フロントガードを取り付けた後は、引っ張り、左右ともロックされていることを確認する。

開き方

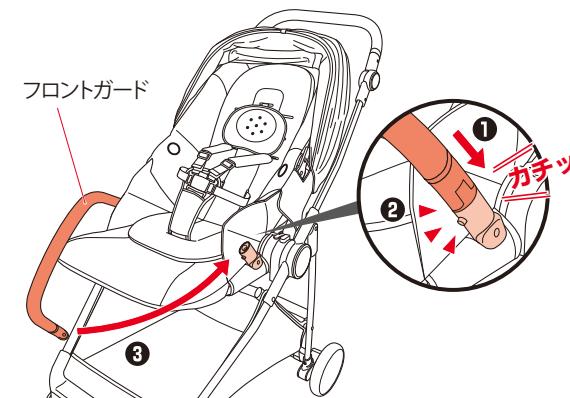
- フロントガードは左右どちらでも開くことができます。



- 下側のロックボタンを押しながら、
フロントガードを上方に引き抜く。
- フロントガード端部を持ち、「カチッ」と音がする
まで差し込む。
- フロントガード端部を手で持ったまま、ゆっくり
下に降ろす。

閉じ方(取り付け方)

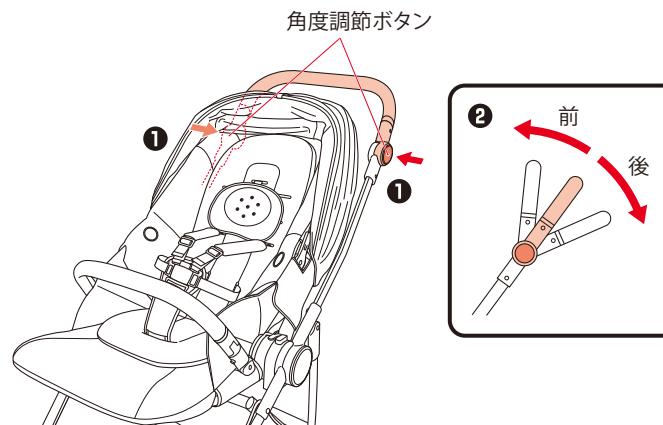
- フロントガードを取り付ける場合は、左右両端とも確実に差し込んでください。



- フロントガード端部を持ち、「カチッ」と音がする
まで差し込む。
- 軽く引っ張り、ロックされていることを確認する。

ハンドル角度調節の使い方

- ハンドルの角度を変えて、押しやすい高さに調節できます。(3段階調節)



- 両手で左右の角度調節ボタンを押しながら、ハンドルの角度を調節する。
- 使用する角度で角度調節ボタンを離す。

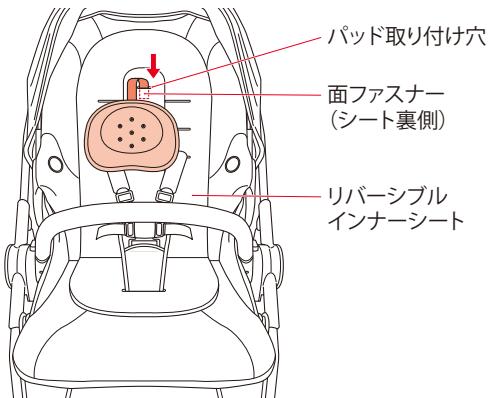
パッドの取り付け方

- 頭マモールパッドは、ベビーカー内において、お子さまの姿勢を適切に保つことをサポートします。

頭マモールパッド

首すわりの頃(月齢の目安:4ヶ月頃)までご使用ください。

- 頭マモールパッドは肩ベルト位置が下段でのみ使用してください。
お子さまの発育に合わせて最長7ヶ月頃まで使用できます。(肩ベルトの高さ調節はP17参照)



- パッドのベルトをリバーシブルインナーシートおよび背もたれのパッド取り付け穴に通して面ファスナーでとめる。

〈頭マモールパッドの取り付け位置について〉

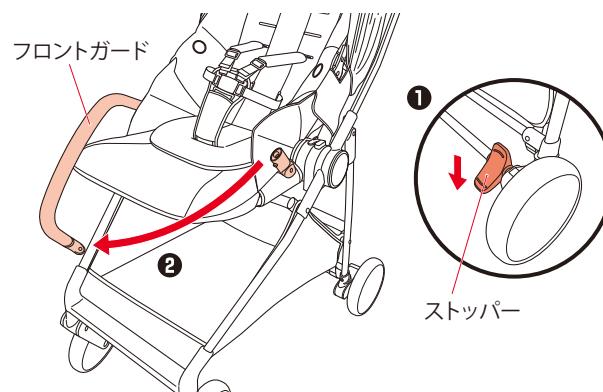


- パッド下部のふくらみがお子さまの首の後ろに合うように取り付けてください。
- ※パッド下部のふくらみの位置がお子さまの首の後ろに合わなくなったら
は取り外してください。

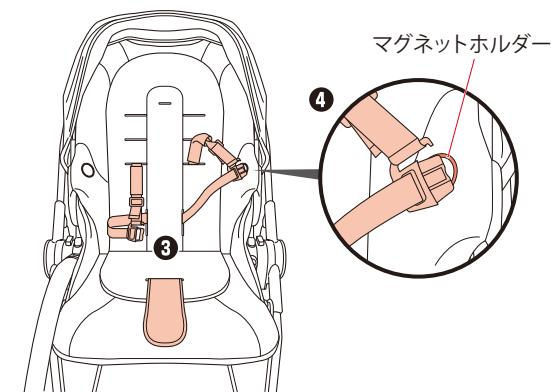


- 頭マモールパッドは、肩ベルト位置が中段や上段の時は使用できません。
また、パッド下部のふくらみの位置がお子さまの首の後ろに合わなくなったら
は取り外す。

1 準備

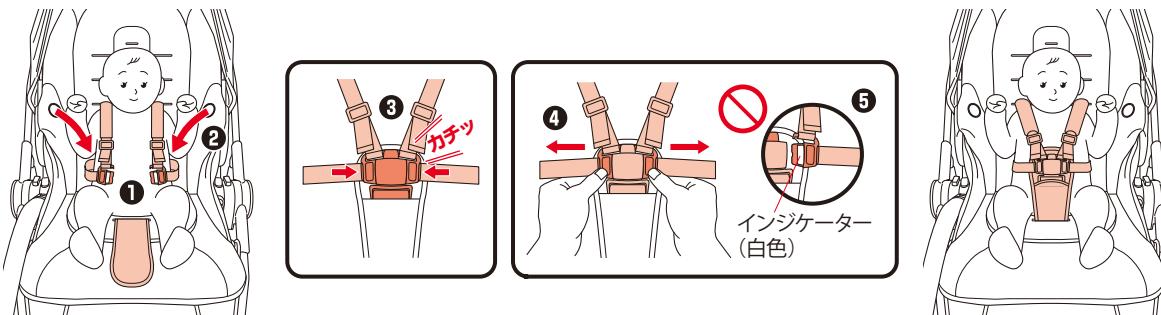


- ①ストッパーをロックする。(P8参照)
- ②フロントガードを開く。(P13参照)
- ③股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。(P11参照)



- ④腰バックルをシートのマグネットホルダー(シート脇の○印部分)に置く。(左右)
 - ・バックルの磁力で吸着します。

2 お子さまを乗せる



- ①お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せる。
- ②お子さまの腕を肩ベルトに通す。
- ③バックルをとめる。(P11参照)
- ④左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。
- ⑤腰バックルのインジケーター(白色)が見えていることを確認する。



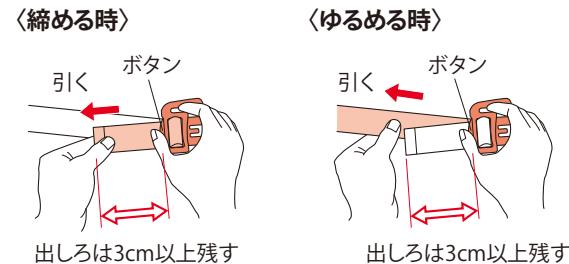
- ・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
- ・肩ベルトがねじれていないうか確認してください。

警告

- ・シートベルトを締めた後は、左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをするおそれがあります。
- ・肩ベルトは必ず肩ベルトフックに差し込んで使用し、フリーにさせないこと。肩ベルトがお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
- ・バックルをとめる時に、お子さまの手足や衣服を挟まないように注意してください。
- ・シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。頭側に寄りすぎるとベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。

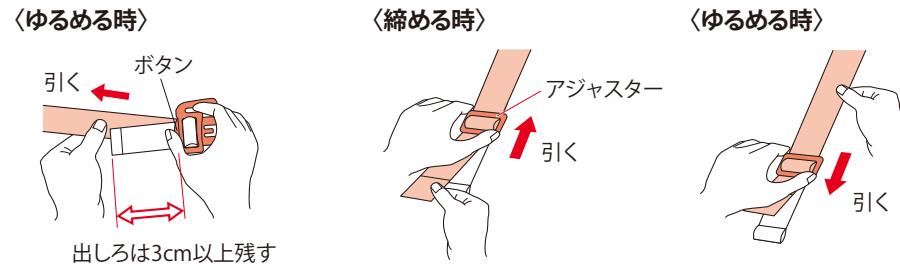
3 ベルトの調節

腰ベルト



- ボタンを押しながらベルトを引き、長さを調節する。

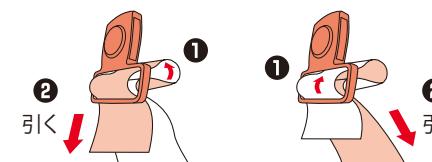
肩ベルト



- アジャスターを引き、長さを調節する。

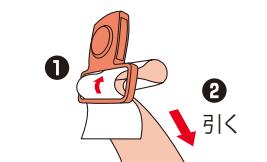
股ベルト

〈締める時〉

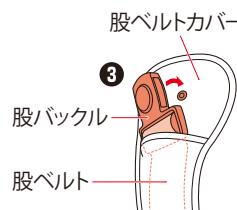


- ①
- ②引く

〈ゆるめる時〉

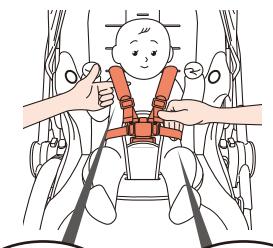


- ①
- ②引く



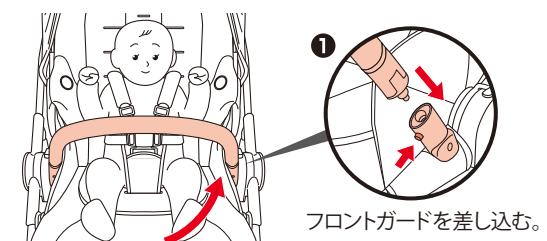
- ①ベルトを矢印の方向に送り、
- ②ベルトを引き、長さを調節する。
- ③ベルトの調節後、股バックル裏のホックを股ベルトカバーにとめる。

ベルトの調節の目安



- 警告**
- ・肩ベルト、腰ベルト、股ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。肩ベルト、腰ベルト、股ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。
 - ・フロントガードを閉じる時にお子さまの指を挟まないよう注意すること。
 - ・フロントガードを装着した後、確実にロックされているか引っ張り、確認すること。
 - ・お子さまを乗せたまま、フロントガードを持ち上げない。
 - ・腰ベルトの末端の出しろ(←部分)は必ず3cm以上残す。
 - ・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節すること。

4 最後に



- ①フロントガードを閉じて、



- ②ストッパーをロック解除する。

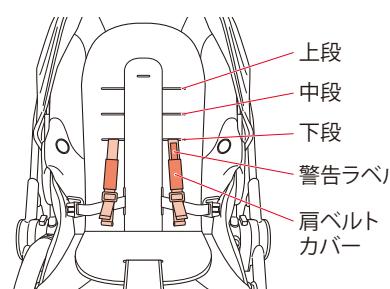
肩ベルトの高さ調節



・お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。

〈肩ベルト位置〉

- ・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。



〈肩ベルトの目安〉

- ・肩の位置より下段に通す。



- ・肩ベルトの位置は以下の3段階に調節してください。

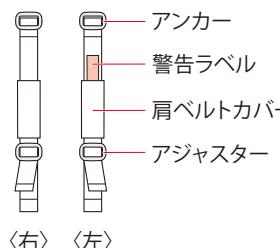
月齢(体格)の目安	肩ベルト通し穴位置
18ヶ月～36ヶ月	上 段
7ヶ月～18ヶ月	中 段
1ヶ月～7ヶ月	下 段

※上記表示は目安であり個人差があります。

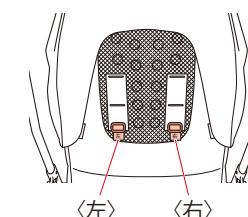
- ・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
- ・肩ベルトがねじれていなか確認してください。

肩ベルトの高さ調節のしかた

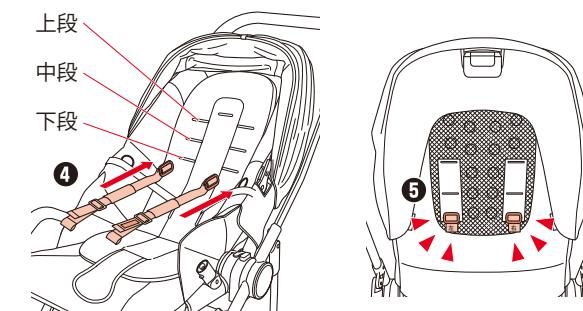
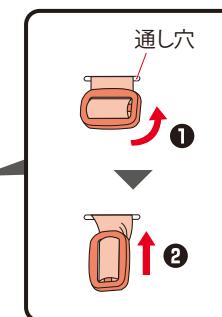
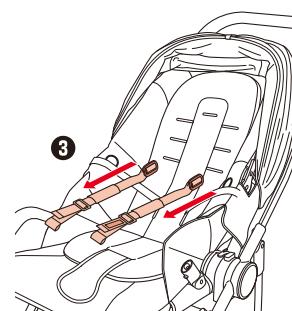
- ・股バックルの解除ボタンを押して腰バックルを外す。(P11参照)
- ・肩ベルトを肩ベルトフックから抜く。(P11参照)



〈ベビーカー背面〉



- ・左側には左のラベルが付いた肩ベルト、右側には右のラベルが付いた肩ベルトを通します。



- ①肩ベルトのアンカーを通し穴に対して図のような向きになるようにひねる。
- ②そのまま通り穴にアンカーを通して、
- ③穴の反対側からアンカーを引き出す。

- ④使用する高さの肩ベルト通り穴にアンカーを通して、背もたれ背面側に引き出す。
・リバーシブルインナーシートとベースのシートでは同じ高さの通り穴をご使用ください。
- ⑤肩ベルトを2～3回引っ張り、肩ベルトが外れないことを確認する。

リクライニングの角度調節

- ・リクライニングの角度調節機能は、お子さまの姿勢を快適に保つことをサポートします。



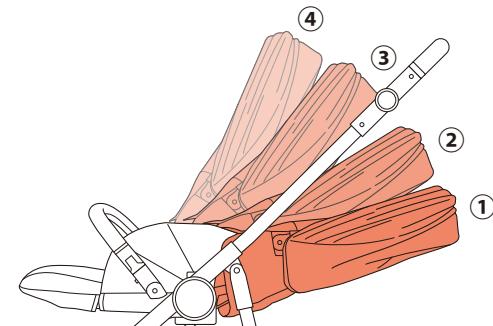
- ・リクライニング操作時は背もたれとベビーカーのフレームとの間で手指を挟まないように注意すること。
- ・お子さまを乗せた状態で背もたれを倒す時は肩ベルトをゆるめてから行う。
- ・リクライニングの調節後は、シートベルトの長さを調節する。シートベルトがゆるい場合は、締めても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。



- ・ベビーカーを押しながらリクライニングの調節をしない。
- ・お子さまを乗せたままリクライニング調節をする時は、リクライニング位置がロックされるまで背もたれを支えながら操作する。
- ・ひとり座りができるお子さまは、背もたれを倒して使用する。

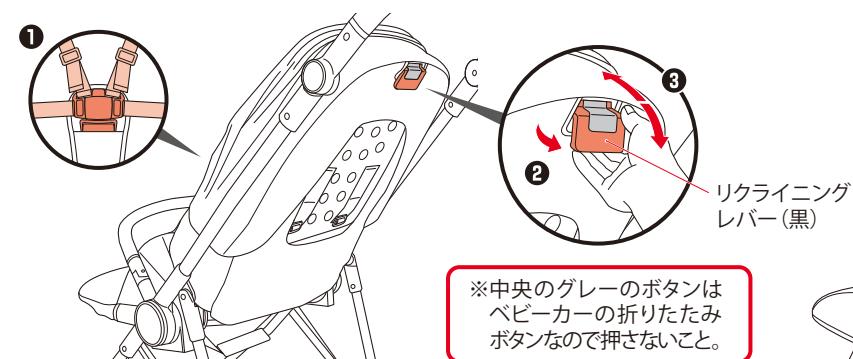
〈リクライニングポジション〉

- ・リクライニングは4段階に調節できます。



月齢／発達の目安	リクライニングポジション
1ヶ月～首がすわるまで	①
首がすわってからひとり座りできるまで	①～③
ひとり座りできてから	①～④

※上記表示は目安であり個人差があります。



※中央のグレーのボタンはベビーカーの折りたたみボタンなので押さないこと。



- ①肩ベルトをゆるめる。(P16参照)

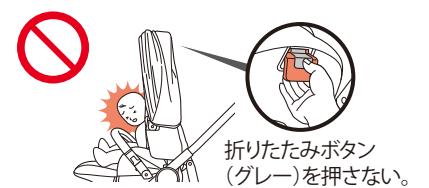
- ②リクライニングレバー(黒)を引き上げ、背もたれの角度を調節する。

- ③使用する位置でリクライニングレバーを離す。位置がロックされるまではもう片方の手で背もたれを支えてください。

- ④背もたれ部分を上から軽く押し、背もたれが確実にロックされていることを確認する。



- ・リクライニング調節時は、リクライニングレバーのみを引き上げ、折りたたみボタンには触れないこと。
シートが折りたたまれ、お子さまが落ちたり挟まるおそれがあります。



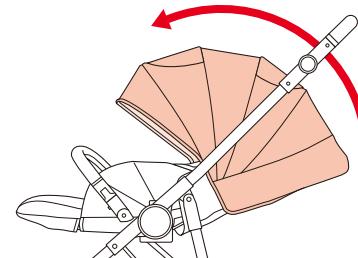
折りたたみボタン(グレー)を押さない。

日除けの使い方



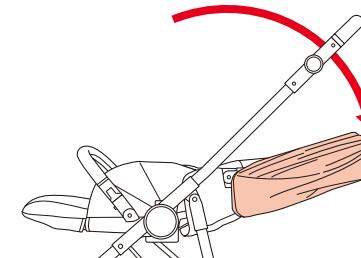
- ・日除けを開いたり折りたたんだりする時は、お子さまが接触した状態では行わない。可動部でお子さまの指や手を挟むおそれがあります。

開き方



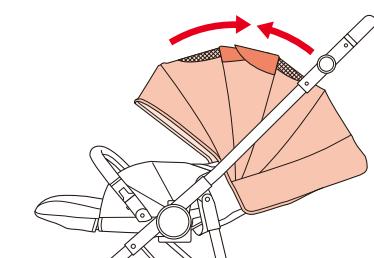
●日除けを前方に開く。

閉じ方



●日除けを閉じる。

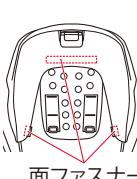
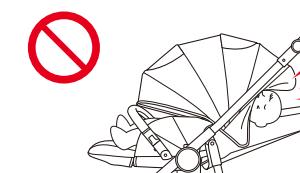
窓カバーの開き方



●窓カバーを開けると、窓からお子さまの様子を見ることができます。



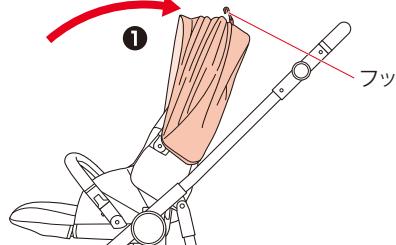
- ・背もたれ背面に日除けを固定している面ファスナーは取り外さないでください。日除けがお子さまにかかり、窒息するおそれがあります。



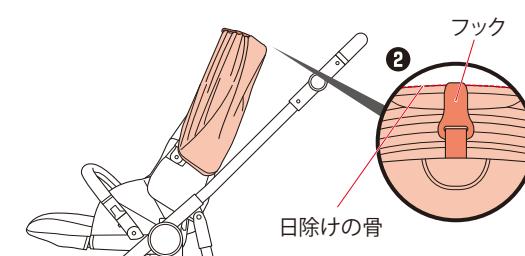
※日除けをベビーカーから取り外すことはできません。

日除けのまとめ方

- ・日除けを折りたたんだ後、日除けをフックでまとめておくことができます。



①日除けを折りたたみ、



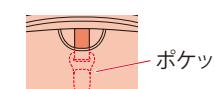
②フックを日除けの骨に引っかけてとめる。



- ・フックに荷物などをかけない。フックが破損するおそれがあります。

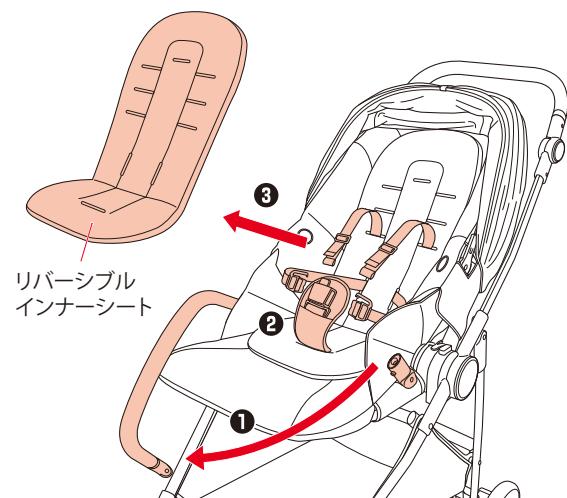


使用しない時はフックをポケットに収納できます。



リバーシブルインナーシートの使い方

- ・リバーシブルインナーシートを取り外した状態でも、お子さまを乗せてお使いいただけます。
- ・リバーシブルインナーシートは裏面も表面と同様にお使いいただけます。



- ①フロントガードを開く。
- ②股バックルの解除ボタンを押し、肩ベルトを外す。
- ③肩ベルト、腰ベルト、股ベルトをリバーシブルインナーシートから引き抜き、取り外す。

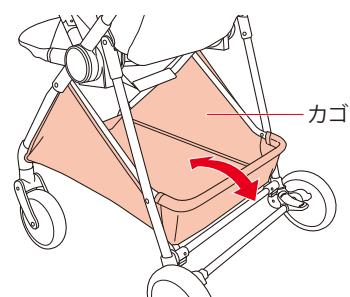
カゴの使い方



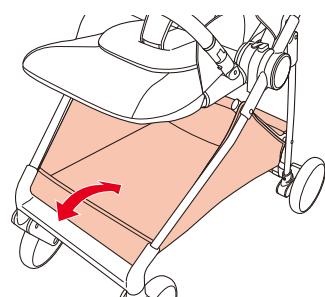
- ・カゴにお子さまを乗せない。ベビーカーが破損し、お子さまや使用者がけがをするおそれがあります。



- ・カゴには鋭利な形状をした物を入れない。カゴが損傷することがあります。
- ・重量5kg以上の荷物を入れない。
- ・ベビーカーを折りたたむ時は荷物を取り出す。
- ・カゴには貴重品などは入れない。



- カゴの上部から、荷物の出し入れをします。
- ・カゴは取り外しあれません。

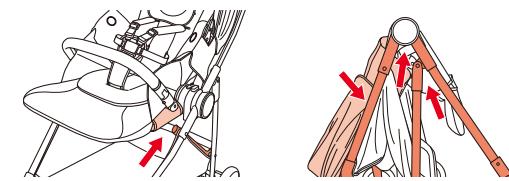


- カゴの前側からも、荷物の出し入れができます。

ベビーカーの折りたたみ方



- 開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
- ベビーカーを折りたたむ時は右図矢印の場所に指を近づけない。挟まれるおそれがあります。
- お子さんにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



- シートベルトを締めてからベビーカーを折りたたむこと。シートベルトがフレームの間に挟まってベビーカーが折りたためなくなったり、バックルの破損や、バックルのマグネット部分への異物の付着のおそれがあります。

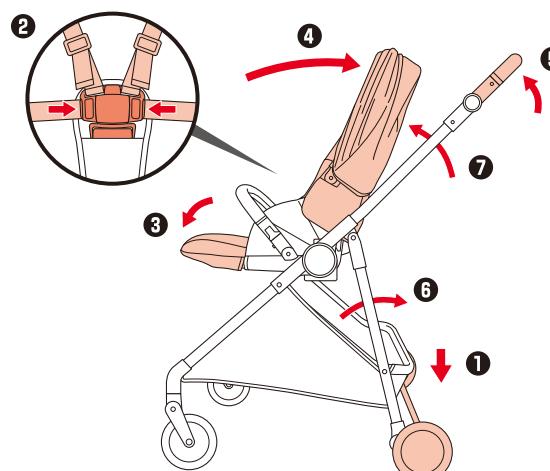


お願い 梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。

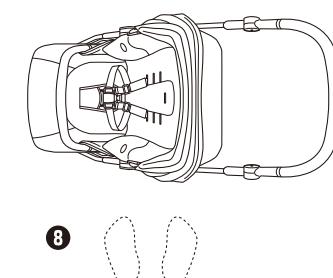
1 折りたたむ前に

*ここではシートが背面状態での折りたたみを説明していますが、対面の場合も同様に折りたたむことができます。

*ベビーカーにチャイルドシートを取り付けている場合はチャイルドシートを取り外してから折りたたんでください。(ルーチェ TS アタッチメント取扱説明書参照)



〈車体を上から見た図〉



ベビーカーに対しての立ち位置

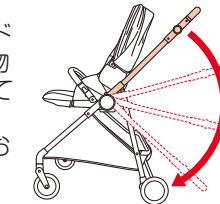
- ストッパーをロックする。
- シートベルトを締める。(P11参照)
- 足のせサポートを上向き、あるいは下向きにしている時は水平にする。(P12参照)
- 日除けを閉じる。(P19参照)
- ハンドル角度をまっすぐにする。(P13参照)
- カゴから荷物を取り出す。
- 背もたれをリクライニングポジション④まで起こす。



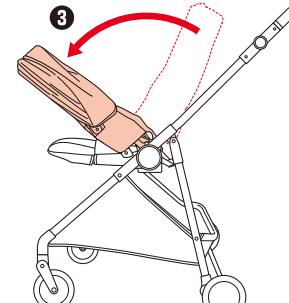
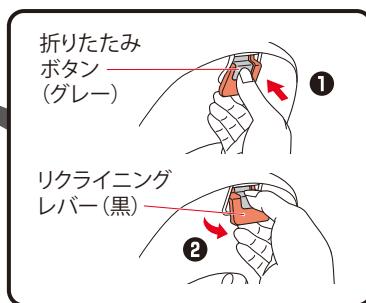
この時に前輪キャスターをロックすると折りたたんだ時に自立しやすくなります。(P23参照)



- 折りたたみ時のハンドルの可動範囲に人や物がないことを確認してください。フレームがぶつかるおそれがあります。



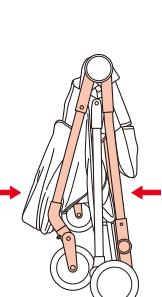
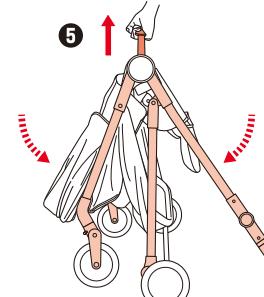
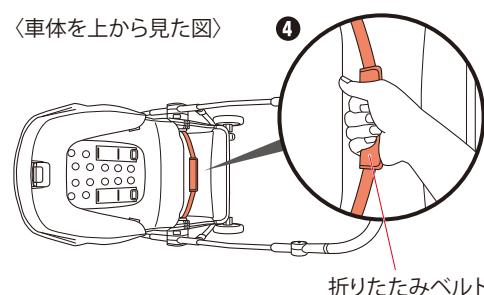
2 折りたたむ



- リクライニングレバーの中央にある折りたたみボタン(グレー)を押しながら、
- リクライニングレバー(黒)を引き上げる。

- 背もたれを前方まで倒す。
・フロントガードがかくれる位置くらいまで倒します。

〈車体を上から見た図〉



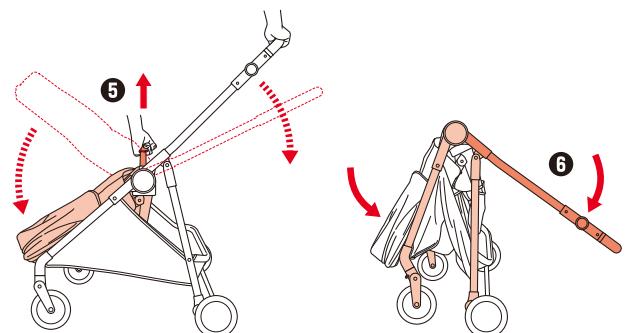
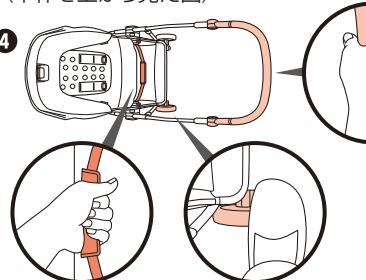
- ベビーカーの折りたたみベルトを握る。
- 軽く勢いをつけて折りたたみベルトを引き上げると車体が折りたたまれます。

前フレームとハンドルを矢印の方向に押し込むと、さらにコンパクトに折りたたむことができます。

折りたたみベルトを引いても車体が折りたたまれない場合には

*上記③の手順以降を下記の手順で行ってください。

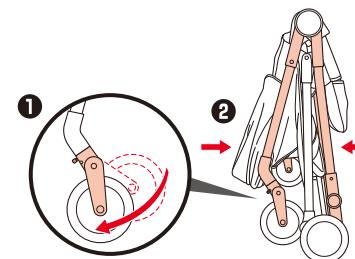
〈車体を上から見た図〉



- 片手で折りたたみベルトを、もう片方の手でハンドルを持ち、車体が浮き上がらないよう足先で軽く後輪を押さえる。
- 軽く勢いをつけて折りたたみベルトを引き上げながら、ハンドルを下方に軽く下げるようになると、背もたれが下側に倒れ、ハンドルが下に倒せるようになります。
- そのままハンドルを倒していく、前フレームと一緒に矢印の方向に押し込みます。

ベビーカーの折りたたみ方(つづき)

コンパクトに折りたためない場合は



前輪が内側を向いたまま折りたたまれた場合、前輪がフレームに干渉して途中までしか折りたたまれない場合があります。

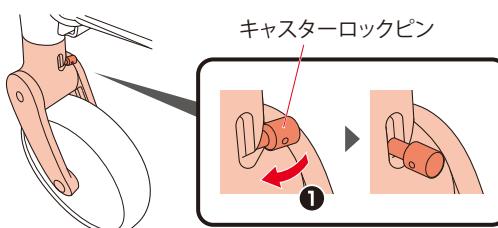
その場合は、以下の手順を行います。

- ①前輪を外側に向け、
- ②フレームを矢印方向に押して折りたたむ。

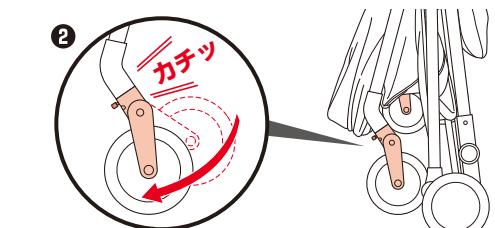
折りたたんだ後に

〈前輪キャスターロック〉

- ・キャスターをロックすると転倒防止になり、さらに安定して自立します。



- ①前輪のキャスターロックピンを矢印の向きに動かす。



- ②前輪を外側に向けると、「カチッ」と音がしてキャスターがロックされます。

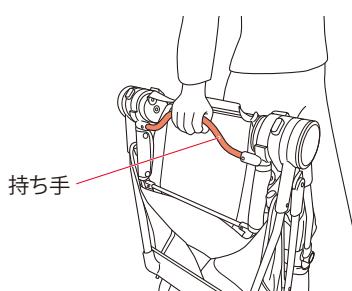
- ・キャスターをロック解除する場合は、キャスターロックピンをロックと逆の方向に動かします。

警告

- ・キャスターをロックした状態でベビーカーを走行させない。ベビーカーの破損や、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。



〈持ち運ぶ時〉



- ・持ち手をもって持ち運びます。
- ・シートの背もたれ側を体のほうに向けて持ち運ぶと持ちやすいです。

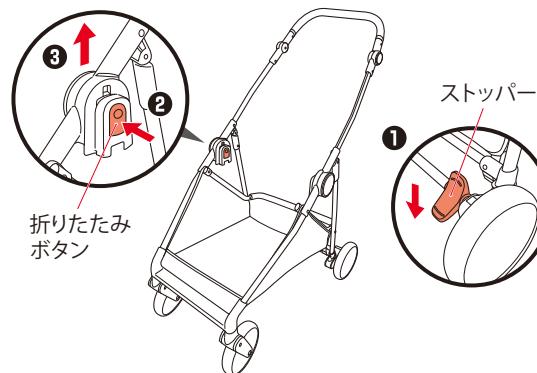
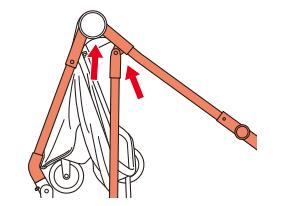
- ・折りたたみベルトや、ハンドルなどのフレームをつかんで持ち運ばないでください。

ベビーカーフレームの折りたたみ方

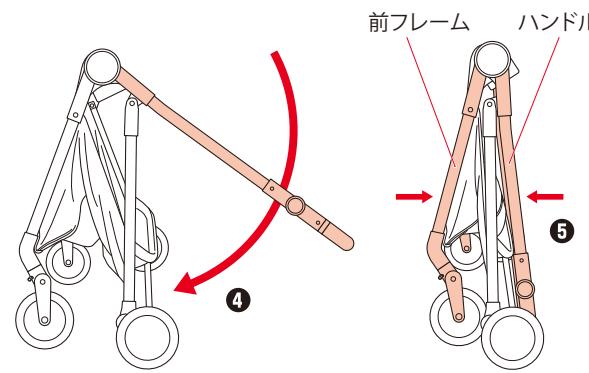
- ・シートを外したベビーカーフレームだけの状態で折りたたむ方法です。



- ・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
- ・ベビーカーを折りたたむ時は右図矢印の場所に指を近づけない。挟まるおそれがあります。

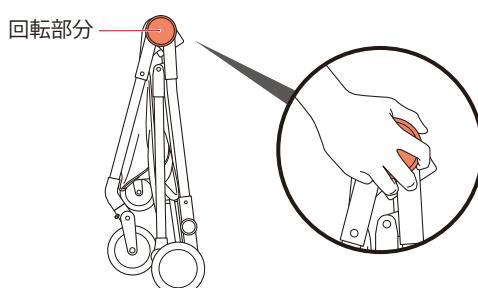


- ①ストッパーをロックする。
- ②ベビーカーフレームの折りたたみボタンを押す。
※左右の折りたたみボタンで同時にやってください。
- ③折りたたみボタンを押したまま、ベビーカーフレームを軽く持ち上げると、ベビーカーが折りたたまれ始めます。



- ④ハンドルを下方向に動かしてベビーカーを完全に折りたたむ。
- ⑤前フレームとハンドルを矢印の方向に押し込む。

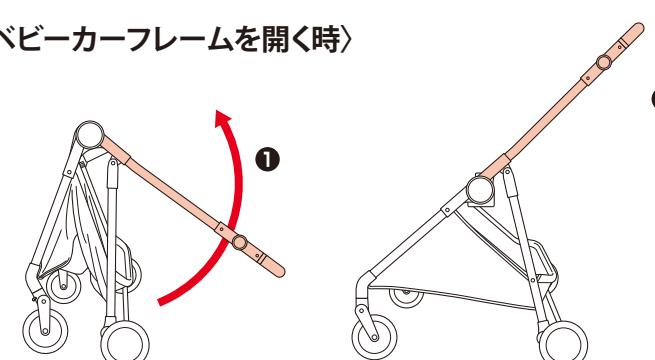
〈ベビーカーフレームを持ち運ぶ時〉



- ベビーカーフレームの回転部分(Apricaロゴ部分)を持って持ち運んでください。

ハンドルなどのパイプを持つと、フレームが開いてしまうことがあります。

〈ベビーカーフレームを開く時〉



- ①片方の手で前フレームを持ち、もう片方の手で、「カチッ」と音がするまでハンドルを持ち上げる。
- ②ハンドルを上下に動かし、フレームが折りたたまれないことを確認する。



- ・ベビーカーフレームだけの状態でお子さまや荷物をのせて使用しない。思わぬ事故の原因となります。

縫製品の洗浄方法

<リバーシブルインナーシートの洗浄について>

- 以下の点に注意して洗濯してください。



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止

※お使いの洗濯機のメーカーと設定によって異なりますが、しっかり洗うコースなど強い洗濯のコースを避けて、標準やデリケートなどのコースで洗濯を行ってください。

※シート全体を覆っている縫製品は取り外しできません。洗浄方法は本ページ下部の「シートを覆う縫製品の洗浄について」をご確認ください。

<頭マモールパッド、肩ベルトカバー、股ベルトカバーの洗浄について>

- 以下の点に注意して洗濯してください。



※ねじり又は絞り禁止

<フロントガードの洗浄について>

- フロントガードは、水を含ませ固く絞ったタオルで汚れを拭き取ってください。



- 縫製品を屋外で干す時は、日陰の平干しにしてください。
- アルカリ性洗剤、酸性洗剤、塩素系漂白剤を使用しないでください。

<シートを覆う縫製品、日除け、肩ベルト、腰ベルト、股ベルト、カゴの洗浄について>

- 丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

●水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合

40°C前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を充分に洗います。その後、乾いたタオルなどで充分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合

中性洗剤を40°C前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで充分に水分を取って、日陰で乾燥させます。



- 縫製品に破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

車体のお手入れ

<フレームや車輪のお手入れについて>

- フレームやバックル、車輪についた砂や泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。
- バックルの表面に砂鉄などの異物が付着した場合は、粘着テープなどを使用すると取り除きやすくなります。



- フレームや車輪に砂や泥、ホコリが付いたままで使用しないでください。スライド部に砂などが入り、開閉できなくなります。
- 泥、ホコリなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。

- 車輪は消耗品です。走行に異常を感じた場合は、タイヤの交換が必要な場合があります。弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。(P29参照)

<ネジ・ナット類について>

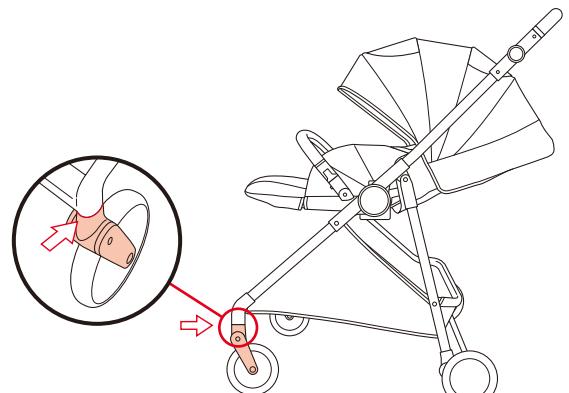
- ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検してください。ゆるみがある場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P29参照)

<フロントガードについて>

- フロントガードの差し込み部についたホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

<注油について>

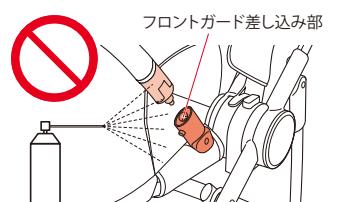
- 可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤を使用ください。
- 注油の前には、泥やホコリを落とし、充分に水分を拭き取ってください。
- 注油は、1力所につき2~3滴程度としてください。



- キャスターがスムーズに回転しない場合は、シリコン滑走剤を図の➡の箇所にさしてください。



- フロントガードの本体側接続部の内部には、シリコン滑走剤などを付着させないでください。フロントガードが外れるおそれがあります。



困った時

- 下記の対処方法で解決しない場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P29 参照)

〈ご使用中に困った時〉

	お気づきの点	対処方法
開閉	ベビーカーが開かない	シートの生地やシートベルトがフレームに挟まっていないか確認してください。 開こうとしてもハンドルが持ち上がらない場合は、片手で前フレームを持ち、しっかりと支えた状態で反対の手でハンドルを持ち上げてください。(P7参照)
	開く時にハンドルではなく先にシートを持ち上げてしまった	片手で前フレームを持ち、しっかりと支えた状態で反対の手でハンドルを持ち上げてください。ベビーカーが転倒しないようしっかりと支えながら行ってください。
	ベビーカーが折りたためない	〈折りたたむ前に〉を行ってから折りたたんでください。(P21参照)
	折りたたみベルトを引いても折りたたまれない	少し勢いをつけて折りたたみベルトを引いてください。それでも難しい場合は、P22の〈折りたたみベルトを引いても車体が折りたたまれない場合には〉のようにして折りたたんでください。
	折りたたみベルトを引いても背もたれのみが折りたたまれ、ハンドルが折りたたまれない	折りたたみベルトを引いた状態で、ハンドルを下に下げるようにしてください。ハンドル部分のロックが外れハンドル部分が折りたためるようになります。(P22参照)
	折りたたみがコンパクトにならない	前輪の向きが内側に向いたまま折りたたまれ、フレームと干渉している可能性があります。前輪の向きを外側に向けてください。(P23参照)
	フレーム部分は折りたたまれたが、シート部分が完全に折りたたまれない(広がっている)	もう一度ハンドルを持ち上げてベビーカーを開き(P7参照)、折りたたみの手順(P22参照)をやり直してください。
走行・方向転換	ストッパーがきかない	ベビーカーを少し前進させてからストッパーをロックしてください。 ストッパー部に石などが挟まっていないか確認してください。
	キャスターが回転しない	前輪のキャスターロックピンを解除してください。(P23参照)
	キャスターの回りが悪い	キャスターにシリコン滑走剤をさしてください。(P26参照)
シートの切替	シートが取り外せない	シートの取り外しボタンを左右同時に押しながらまっすぐ、シートを持ち上げてください。(P9参照)
	シートが取り付けられない	シートの取り付け部にシートの生地やシートベルトが挟まっているか確認してください。(P10参照)
リクライナ	背もたれが起こせない	お子さまをベビーカーから降ろして、リクライニングレバー(黒)を引き上げ、背もたれを起こしてください。(P18参照)
ペブルート	パックルがとめられない	衣類などの生地やシートベルトがパックルに挟まっていたり、異物がパックルに付着していないか確認してください。
保管	ベビーカーが自立しない (折りたたみ時)	前輪の向きを外側に向けてください。キャスターをロックすると、さらに安定して自立します。(P23参照)
保守	タイヤが消耗した	タイヤが消耗し、走行に異常を感じた時はタイヤの交換が必要な場合があります。弊社お客様サポートセンターに連絡してください。(P29参照)

〈再利用する時〉

	お気づきの点	対処方法
	前の使用者がどのような使い方をしていたのかわからない時は	使用状態が不明な商品をご使用になるのはお勧めできません。
	ベビーカーにクラック(ひび割れ)や大きな傷がある時は	ご使用になれません。

保管について

- 本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
- 前輪のキャスターはロックした状態で保管してください。



火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しないでください。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなる可能性があります。
上に荷物を置いたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
前輪のキャスターをロックした状態で保管してください。タイヤの変形のおそれがあります。

廃棄について

- お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
- 環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。

SGマーク制度について



SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。

ただし、ベビーカーの場合、ご購入後4年以内の製品が対象となります。

チャイルドシートをベビーカーに取り付けてご使用される場合は、SGマーク制度の対象となりません。

賠償についてのご注意

SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害(物的損害)を賠償するものではありません。

製品の欠陥によって事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。
連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届等を提出していただきます。(原則として60日以内)

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3300

〈事故の届出に必要な項目〉

- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品
イ) 製品の名前、SGマーク番号　ロ) 製品の購入先、購入年月
- ②事故発生の状況
イ) 事故発生年月日　ロ) 事故発生場所　ハ) 事故発生状況
- ③被害の状況
イ) 被害者の氏名、年令、性別、職業、住所　ロ) 被害の状況と程度

保証とアフターサービスについて

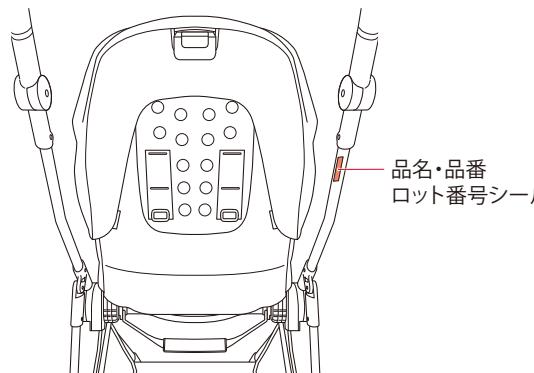
◎保証について

- ・保証期間中（購入日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。故障の箇所によっては、修理できない場合がございます。
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1ヶ月です。）
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。）

◎アフターサービスについて

- ・ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があつたり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号（下図参照）をご確認のうえ、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ハンドル内側シールの品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



お買い上げ時レシート
貼り付け位置

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ベビーカーお買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。

アフターサービスについての連絡先

ニューウエルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー事業部 お客様サポートセンター **TEL 0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）**TEL 0570-004-155**

受付時間：AM10:00～PM5:00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）